

「那覇市都市型MICE振興戦略（案）」に関する市民意見募集の実施結果について

「那覇市都市型MICE振興戦略（案）」について、市民のみなさまのご意見を募集したところ、以下のご意見をいただきましたので、那覇市市民意見提出に関する要綱第8条に基づき、本市の考え方とともに公表いたします。
貴重なご意見をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

- 意見募集期間：令和6年3月11日（月）～令和6年4月11日（木）
- 意見件数（提出者数）：18件（5名）※内容が重複するご意見は、整理しまとめています。
- 意見概要及びご意見に対する考え方：以下のとおり

No.	該当箇所	意見概要	ご意見に対する市の考え方
1	P4 第1章 MICEと戦略策定について 1 MICEとは 表中、区分"E"の具体的事例	春季スポーツキャンプ、各種まつり（産業まつり、那覇まつり、オリオンビール祭りなど）→下線部分を追加。	ご意見いただいた箇所について、他の区分（M・I・C）と記載に統一感を持たせるため、個別具体的な名称ではなく「第〇回〇〇商談会・展示会、〇〇競技大会、スポーツキャンプ」と記載を修正しました。
2	P5 第1章 MICEと戦略策定について 2 戦略策定の背景・目的 都市型MICEの説明 P18 第3章 都市型MICE振興戦略 3 ターゲット 下段説明	・空港や港を有するとともに、モノレールを含めた陸上交通の結節点であり、奥武山運動公園や漫湖公園の大規模運動公園が位置する。→下線部分を追加。 ・①空港や港を有するとともに、モノレールを含めた陸上交通の結節点や奥武山運動公園、漫湖公園の大規模公園が位置する。→下線部分を追加	ご意見いただいた大規模運動公園については、スポーツ大会等を実施・誘致する際に重要な施設と認識しております。しかしながら、ご指摘の箇所は、本市の強みとして捉えている交通利便性の説明として整理しているため、案の記載のとおりといたします。
3	P7 第1章 MICEと戦略策定について 3 都市型MICE振興の意義・効果 3つの効果 2・・・及び都市ブランドの向上	那覇市のスポーツ施設、イベント会場を含めた都市ブランドの発信→下線部分を追加	ご意見いただいた「スポーツ施設、イベント会場を含めた都市ブランドの発信」について、本市には都市ブランドとして磨いていく要素が複数あると考えます。該当ページの中で、一つひとつ取り上げ表現することが難しいため、要素が複数あることを包括的に表す記載に修正します。
4	P12 第2章那覇市MICEの現状について 2 那覇市のMICE受入施設（中心市街地エリア）	国際通り中心のMICEではなく、旧市民会館跡地にコアとなる施設を誘致し、LRT計画と結びつけることも重要だと思います。	旧市民会館跡地については、「（仮称）新真和志支所複合施設基本計画（令和3年3月）」に基づき、新真和志支所複合施設の整備する方針のため、MICE施設の誘致は予定していません。しかしながら、ご意見いただきました那覇市LRT整備計画素案を踏まえた参加者の市内周遊ルート構築など将来的に検討が必要と考えます。
5	P15以降 第3章 都市型MICE振興戦略	取組の柱1と3を1つの柱と考えるのはどうでしょうか？本市が受入地側と主催者の規模と市内の会議施設・宿泊施設などの受け入れ可能な規模を大、中、小に分けて把握し、規模間でリンクさせ、どのような準備を行えば良いかを、本市、MICE関係者だけでなく地域事業者を含めた案が必要だと思いました。特に、商店街では人材不足が問題です。もし人材不足になった場合のリスクや対応、また、他市区町村の誘致失敗のケースを取り上げ、リスクに備える案も考慮すべきだと思います。	「取組の柱1：受入体制の構築」受入地として本市や関係機関、事業者の皆様が連携した体制構築と、「取組の柱3：ターゲットを見据えた誘致」本市がターゲットとするMICE主催者等の誘致活動では、取組を異にするので案の通りといたします。 ご意見いただいた内容は、「施策5 ネットワークの構築・連携強化」の取組の例として「ネットワーク構築と市内事業者への啓発」「マッチングと会員同士の連携強化」を記載しております。 具体的には、MICE開催受入による効果などを啓発し、MICEによりもたらされるビジネスメリットの周知啓発により、事業者のMICE受入の意欲喚起を促し、積極的に取り組む事業者の皆様が増えることを目指します。また、会員同士の連携強化の一環として、人手不足の問題の解消に向けた取組の検討を進めることも想定されます。
6	P16 第3章 都市型MICE振興戦略 1 基本的な考え方・視点	アジア主要都市との・・・特性を生かした「ビジネス・リゾート・スポーツ」、琉球王国時代から・・・ 那覇市第5次総合計画では・・・「ビジネス・リゾート・スポーツ」と歴史・文化が・・・ →下線部分を追加	本戦略では、第5次那覇市総合計画においてめざすまちの姿「ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる万国津梁のまちNAHA」を推進するための基本計画の1つの政策として「ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり」が掲げられております。MICE振興を通して、第5次那覇市総合計画で掲げるめざすまちの姿の実現を目指すため、ご指摘の箇所は、第5次那覇市総合計画の文言に沿った記載となっております。 そのため、案の記載のとおりといたします。

No.	該当箇所	意見概要	ご意見に対する市の考え方
7	<p>P17 第3章 都市型MICE振興戦略 2 取組の柱 那覇ならではの価値の提供</p>	<p>野球、マラソンなどの各種スポーツイベントを通じたMICE参加者への認知向上、消費促進を図り、担い手の育成を醸成します。→下線部分を追加</p>	<p>本戦略では、第5次那覇市総合計画で掲げるめざすまちの姿の実現を目指し、「ビジネス・リゾート」と「歴史・文化」が融合するMICE都市として新たな地位を築く一つの観点として、「取組の柱2_那覇ならではの価値の提供」を柱の一つとしています。 ご意見の内容については、MICEのうち"E"の一つの具体的事例であると考えますが、本戦略では第5次那覇市総合計画で記載されている「ビジネス・リゾート」と「歴史・文化」をキーワードとして、具体的施策まで整理しております。 そのため、案の記載のとおりといたします。</p>
8	<p>P18 第3章 都市型MICE振興戦略 3 ターゲット ターゲットの考え方</p>	<p>「ターゲットを明確にし」とあるが、そのニーズはどのように集めるのか？が、伝わってこないため具体的なペルソナも見えず、価値教育・販売・商品開発をどのように行うか判断するのは、大変むずかしい。 市場が何を求め、どのような未来・価値を共有したいのか？など、どのようにリサーチするのかが、とても気になる。 そのためにも、一般消費者ではなく、MICEに特化した独自のアンケート調査が必要だと考える。</p>	<p>・主催者ニーズ等の把握について ご意見いただいた内容の取組は、「施策5 ネットワークの構築・連携強化」の取組の例として"データやエビデンスに基づく施策立案"を記載しております。MICE主催者に対するアンケートの実施等を検討し、主催者ニーズに対して柔軟に対応していく体制構築を推進します。</p>
9		<p>・那覇港湾施設（那覇軍港）の跡地を活かした・・・ ・奥武山公園や漫湖公園を活かした快適な親しみやすいまちづくりに関連する分野 →下線部分を追加</p>	<p>本戦略では、ターゲットの考え方の一つに「重点ターゲット：分野」を掲げており、第5次那覇市総合計画において定められている施策の重要な視点のうち「稼ぐ力」に最重要視点を持って遂行する施策を抽出しております。 ご指摘の箇所は、「稼ぐ力」に最重要視点を置く9つの施策を列挙している箇所となります。 そのため、案の記載のとおりといたします</p>
10	<p>P21 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例 戦略1 受入体制整備</p>	<p>「相談窓口の整備」で、サイトによるオンライン手続きを主として、各施設へワンストップで主催者が申し込める体制を望む。</p>	<p>ご意見いただきました内容と類似の取組として、「施策4 MICE開催支援」"デジタル技術の実証・活用"を取組の例として記載しております。 内容として「MICE施設、宿泊、飲食、コンテンツなどMICE開催に必要な手続きの一元化を目指したデジタル技術活用に向け検討します」としております。</p>
11	<p>P22 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例 戦略2 地域資源の利用促進とMICE開催支援</p>	<p>■地域資源の磨き上げ 那覇市の地域資源（伝統芸能、食文化、スポーツなど）やユニークベニューとして・・・→下線部分を追加</p>	<p>本戦略では、第5次那覇市総合計画で掲げるめざすまちの姿の実現を目指し、「ビジネス・リゾート」と「歴史・文化」が融合するMICE都市として新たな地位を築く一つの観点として、「取組の柱2_那覇ならではの価値の提供」を柱の一つとしています。 ご意見のスポーツについても重要な要素と考えます。本戦略では第5次那覇市総合計画で記載されている「ビジネス・リゾート」と「歴史・文化」をキーワードとして、具体的施策まで整理しております。 そのため、案の記載のとおりといたします。</p>
12	<p>P22 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例 戦略2 地域資源の利用促進とMICE開催支援</p>	<p>・那覇文化芸術劇場なはーと等、素晴らしい施設があるので活用すべきだが、周辺の交通渋滞問題は決められた時間でスケジュールをこなさなければならない利用者に深刻な懸念を抱かせる。 ・また、雨の多い地域故に移動がストレスに感じられてしまうというリピート率に影響する。</p>	<p>・ご意見を踏まえ、取り組み内容を一部修正いたします。 ・戦略2 施策4 MICE開催支援の取組の例として「分散開催の支援」の取組として、雨天時の会場移動サポート等を想定しております。</p>
13	<p>P23 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例 戦略3 地域で稼ぐ力の向上</p>	<p>「ネットワークの構築・連携強化」とは、データバンクのことなのか？ それとも関係者のコミュニケーションや情報に重きを置いているのか？</p>	<p>・ご意見いただいた「施策5 ネットワークの構築・連携強化」は、関係者のコミュニケーションや情報共有を想定しております。</p>

No.	該当箇所	意見概要	ご意見に対する市の考え方
14	P24 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例 戦略4 誘致・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の那覇市公式HPでも情報発信が十分とは言えないのどうやって発信力を高めるのか？ ・専門のスタッフを雇用する予算はあるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が重点ターゲットとするMICE主催者等に対して、効果的に情報発信していくことが重要と考えております。沖縄県全域でMICE誘致に取り組む沖縄観光コンベンションビューロー等の関係機関との連携強化を図り、MICE主催者等への発信力を高めていく考えです。 ・本市のMICE誘致にあたっては専門的なノウハウや知識を有する人材確保が必要と認識しております。人材の育成や新たに雇用する等、手法について引き続き検討し、必要に応じて予算措置を検討して参ります。
15		「誘致活動」「プロモーション」については、国内外問わずにプロモーションが可能とする、Instagram、YouTubeチャンネルを開設することはマストと考える。	ご意見いただいた内容の取組は、「施策8 プロモーション」の取組の例として"PRツール作成"を記載しております。PRツール作成の具体的な内容として、各種SNSの活用など検討して参ります。
16	P24 第3章 都市型MICE振興戦略 4 戦略と具体的な施策例	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにして市場が求めているものを集めるのか？が見えてこない。この段階で、架空のターゲットを対象に誘致・プロモーションを行うのは、時間とお金の無駄になると考える。 ・まず、市場が那覇のMICEを通して何をしたいのか？を、常に明確化し情報共有・更新を行っていくことを望む。 ・またターゲットは、思想や宗教・衣食住文化が那覇と異なるのを踏まえ、ターゲットに合わせた価値教育やプロモーションの発信を行なって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本戦略案P28において、本戦略期間を前期（3年）、後期（2年）で分けて施策展開を記載しております。ご意見のとおり、誘致・プロモーションはターゲットの明確化が必須と考えておりますので、前期の施策展開（連携強化・主催者への支援）する中でターゲットを明確にし、後期の施策展開（積極的誘致）へ繋げていく考えです。 ・ご意見いただいた内容の取組は、「施策5 ネットワークの構築・連携強化」の取組の例として"データやエビデンスに基づく施策立案"を記載しております。MICE主催者に対するアンケートの実施等を検討し、主催者ニーズへ柔軟に対応できる体制構築を推進します。 ・ご意見のターゲットは特に海外からのMICE主催者、参加者に対して考慮していくべきことと考えます。海外からの誘致や海外に向けた情報発信の際には、ご意見の内容を踏まえた施策展開を進める考えです。
17	P26 第3章 都市型MICE振興戦略 5 推進体制	この図での情報共有だと、デジタルなのか？アナログなのか？がよく伝わらない。希望としては、データバンクを作って欲しい。 市場のニーズは常に変化しており、午前のトラブルはその場で瞬時に情報共有し、午後には他の関係者も問題を解決できるようなシステムの構築を望む。	情報共有については、共有する内容に応じて適切な媒体を活用して共有していく想定です。 本市としましては、事業者の皆様との連携した受入体制構築を目指す考えです。ご意見いただいたリアルタイムに情報共有し課題解決するシステムについては、関係者間の連携強化の一環として検討を進めることも想定されます。
18	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を通して「市場（客）」が誰なのか？具体的に見えないため、誰に向かって何を提供すべきなのか？サービスなどもぼやける印象がある。 ・気にあるのは、大きな括りで3つ。 ①市場（客）は誰？ ②那覇ブランドは何？ ・那覇のブランディングがないため、プロモーションや商品開発も中途半場になるので、テストマーケティングを繰り返しながら市場のニーズをつかみ、那覇ブランドの構築が出来たらよいと考える。 ③市場のデータバンクの運営方法は？ 市場（客）がMICEで何を求めているのか？を知るのには、対象者にアンケートを繰り返し行い、データを日々更新するのがベストだと考える。 那覇市には素晴らしい観光コンテンツや伝統的工芸品などが多いが、市場のニーズに求められていないサービスだと、無料で体験（購入）はしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットについて 第3章都市型MICE振興戦略_3ターゲット において「最重点ターゲット：経済波及効果が高いと見込まれるMICE」「重点ターゲット：観光ボトム期に開催されるMICE、稼働力の施策推進に貢献するMICE」を定めました。本戦略策定にあたっては、那覇市として市内で開催するMICEに重視・期待する視点を整理したのになります。これらターゲットにあてはまるMICEは多種多様であることが想定されるため、本戦略においてはやや抽象度の高い記載としております。 ・那覇ブランドについて ご意見のとおり、那覇ブランドとして確立したものが不在状況との認識です。今後那覇ブランドの確立を目指す考えから、「施策8 プロモーション」の取組の例として"MICE都市ブランドの磨き上げ"を記載しております。 ・主催者ニーズ等の把握について ご意見いただいた内容の取組は、「施策5 ネットワークの構築・連携強化」の取組の例として"データやエビデンスに基づく施策立案"を記載しております。MICE主催者に対するアンケートの実施等を検討し、主催者ニーズへ柔軟に対応できる体制構築を推進します。